

第2回認知症介護実践者研修（新カリキュラム）

受講者募集要綱

1. 開催目的

認知症高齢者が増加する中、高齢者介護実務者に対し、認知症高齢者がその有する能力に応じて自立した生活を営むことを支援できるよう、福祉専門職として、どのようなサービス形態であっても介護現場で実践できる専門職員を養成することにより、認知症介護の知識や技術を修得し、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることを目的とする。

2. 主催者

社会福祉法人ほくろう福祉協会【札幌シニア福祉機構】

※ 札幌市指定 第7号（平成22年4月22日）

※ 北海道指定 第7号（平成22年5月20日）

3. 研修対象

1. 認知症介護業務に従事する介護職員等であって、原則として認知症介護基礎研修を修了した者あるいはそれと同等以上の能力を有し、身体介護に関する基本知識・技術を修得し、介護保険施設・事業所等において、認知症介護業務に概ね2年程度従事した経験を有する方。

2. 居宅介護支援事業所等で居宅サービス計画等の作成に従事する介護支援専門員であって、認知症の利用者に係る計画等作成の経験を、概ね2年程度有する方。

4. 研修内容及び定員

	研修内容	研修時間
①	講義・演習	4日間（24時間）
②	実習	自施設実習4週間＋他施設実習1日
③	実習のまとめ	3時間
※詳細なカリキュラムは別表1のとおりです。		

【定員】 30名

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、オンラインによる研修に変更する場合があります。

※ 全ての研修時間を満たした方に、修了証書を交付します。

5. 研修会場

①講義・演習及び③実習のまとめの会場は次のとおりです。

第2回	かでる 2. 7 札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 ※札幌駅 徒歩 12 分 地下鉄大通駅 徒歩 9 分 有料地下駐車場があります。
-----	--

②実習

他施設実習	新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図る観点から、受入先施設の状況等に応じて、他施設実習を自施設実習で代替とします。
自施設実習	各受講者が所属している施設・事業所

6. 申込み方法及び決定

様式 1 申込書に必要事項を記載し、施設・事業所代表者の印を捺印の上、郵送により申込み下さい。〆切は令和 4 年 9 月 16 日です。

受講要件及び申込順により、受講決定書を送付します。尚、申込多数の場合等は、受講できないこともありますので、ご了承ください。

7. 受講料 23,000 円

※ 受講決定通知書発送後、研修前日までに指定口座に振込をお願いいたします。

※ 振込後のキャンセルは、振込手数料を差し引いた受講料をご返金致します。

※ 別途テキスト「認知症介護実践研修テキスト」(中央法規) 2,600 円(税別)が必要となります。研修初日の朝、販売致しますので現金で購入をお願いいたします。

8. 講義・演習担当講師

定められた認知症介護指導者が担当します。

9. 留意事項

- ・ 申込書の記載は、慎重に御願います。(実務経験等の不実が認められた時は、修了証書を交付できません。)
- ・ 事務局から受講決定通知書を送付した以降は、原則、受講者の変更は応じられません。
- ・ 研修効果を高めるため、受講者ご自身の問題意識等について、所定様式により提出していただく場合がございます。(受講決定通知書と一緒にご案内します。)

10. 開催日程

講義・演習 【4日間】	前期	令和4年9月29日(木)～9月30日(金)
	後期	令和4年10月11日(火)～10月12日(水)
自施設実習 【4週間】+【1日間】	令和4年10月13日(木)～11月10日(木)	
実習のまとめ【3時間】	令和4年11月15日(火)	

11. お申込み・問合せ先

社会福祉法人ほくろう福祉協会【札幌シニア福祉機構】
〒004-0014 札幌市厚別区もみじ台北6丁目2番5-2号
電話 011-897-1100
担当者：五十嵐

※ ホームページでもご案内しております。

札幌シニア福祉機構

検索



別表1

認知症介護実践者研修カリキュラム(新カリキュラム)						
	時間数	区分	科目	目的	内容	
1 日目	9:30~9:45	オリエンテーション				
	9:45~12:45	180分	講義・演習	認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援	認知症の人が望む生活を実現するため、認知症ケアの歴史的背景や認知症ケアの理念、認知症の原因疾患、中核症状、行動・心理症状(BPSD)の発症要因、認知症ケアの倫理や原則、認知症の人の意思決定支援のあり方について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアの理念と我が国の認知症施策 認知症に関する基本的知識 認知症ケアの倫理 認知症の人の意思決定支援 自己課題の設定
	12:45~13:35	50分	昼休み			
	13:35~18:35	300分	講義・演習	生活支援のためのケアの演習1	食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援のためのケア 認知症の生活障害 認知症の人の生活環境づくり 中核症状の理解に基づくコミュニケーション 生活場面ごとの生活障害の理解とケア
2 日目	9:30~10:30	60分	講義・演習	QOLを高める活動と評価の観点	認知症の人の心理的安定やQOL(生活・人生の質)向上を目指す活動に関する基本的知識、展開例、評価の観点と方法について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> アクティビティの基礎的知識と展開 心理療法やアクティビティの評価方法
	10:40~12:10	90分	講義・演習	家族介護者の理解と支援方法	在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や心理、介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。	<ul style="list-style-type: none"> 家族介護者の理解 家族介護者の心理 家族介護者の支援方法
	12:10~13:00	50分	昼休み			
	13:00~14:30	90分	講義・演習	権利擁護の視点に基づく支援	権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 権利擁護の基本的知識 権利侵害行為としての高齢者虐待と身体拘束 権利擁護のための具体的な取組み
	14:40~16:40	120分	講義・演習	地域資源の理解とケアへの活用	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人が地域で自分らしく暮らし続けるための地域資源の開発の提案ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人にとっての地域資源と実践者の役割 インフォーマルな地域資源活用 フォーマルな地域資源活用 地域資源としての介護保険施設・事業所等
3 日目	9:30~10:30	60分	講義・演習	学習成果の実践展開と共有	認知症介護実践者研修におけるこれまでの学習成果を踏まえ、自施設・事業所での自らの認知症ケアを実践することにより、研修で得た知識を実践において展開する際に生じる気づきや疑問・課題を明らかにする。それらの自分自身の認知症ケア実践の課題や取り組みの方向性を検討し、他の受講者と共有することにより、知識の活用に関する幅広い視点を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の本人の声を聴く(自施設・事業所における実践) 事例収集(自施設・事業所における実践) 中間課題の発表と共有
	10:40~12:40	120分	講義・演習	生活支援のためのケアの演習2(行動・心理症状)①	認知症の行動・心理症状(BPSD)が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解した上で生活の質が高められるようチームで支援できる。	<ul style="list-style-type: none"> 行動・心理症状(BPSD)の基本的理解 行動・心理症状(BPSD)の発症要因とケアの検討(事例演習) 行動・心理症状(BPSD)の評価 生活の質の評価
	12:40~13:30	50分	昼休み			
	13:30~15:30	120分	講義・演習	生活支援のためのケアの演習2(行動・心理症状)②	①に同じ	①に同じ
	15:40~17:40	120分	講義・演習	アセスメントとケアの実践の基本①	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人のアセスメントの基礎的知識 観察の方法とポイント アセスメントの実践(事例演習) 実践計画作成の基礎的知識 実践計画作成の展開(事例演習) 実践計画の評価とカンファレンス
4 日目	9:30~12:30	180分	講義・演習	アセスメントとケアの実践の基本②	①に同じ	①に同じ
	12:30~13:20	50分	昼休み			
	13:20~17:20	240分	講義・演習	自施設及び他施設実習の課題設定	認知症の人が望む生活の実現に向けて、適切にアセスメントを行い、課題と目標を明確にした上で、ケアの実践に関する計画を作成することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 実習のねらい 対象者選定 課題設定 4週間の行動計画の作成
実習	4週間	実習	自施設実習(アセスメントとケアの実践)	研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケア実践計画及びケアの実践を展開できる。	<ul style="list-style-type: none"> 実習の準備 実習の開始 報告準備 	
	1日	実習	他施設実習	他の介護保険施設・事業所等への1日の見学実習を通して、自己の設定した課題の達成を目指し、その成果を得ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 実習課題に沿った実習の展開 研修目的に沿った実習の展開 	
報告会	9:30~9:40	オリエンテーション				
	9:40~12:40	180分	講義・演習	自施設及び他施設実習評価	アセスメントやケア実践計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し職場および自己の認知症ケアの今後の課題を明確にすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 実習報告 ケア実践計画の評価 職場への報告と展開

(様式 1)

令和 4 年度 社会福祉法人ほくろう福祉協会【札幌シニア福祉機構】
認知症介護実践者研修 受講申込書

年 月 日

社会福祉法人ほくろう福祉協会
理事長 松本 剛一

所 属 名
代表者氏名 印

次の職員に、標記研修の受講を申込み致します。尚、主な経歴及び認知症介護の経験年数については、記載のとおりであることを証明します。

受講希望開催回： 1 ・ 2 回目申込み

フリガナ		性 別	生 年 月 日	年 齢
受講者 氏 名		男 ・ 女	昭・平 年 月 日	才
現職名 ※1		従事している 資格名称 【○印】	介護福祉士・ホームヘルパー（1・2級） 介護職員実務者研修・介護職員初任者研修 看護師・准看護師・介護支援専門員・ 社会福祉士・無資格 その他（ ）	
法人名		経営主体 【○印】	社会福祉法人・医療法人・ NPO法人・株式会社・ 有限会社・その他（ ）	
勤務先種別				
事業所名				
所在地 住所・連 絡	〒	電 話		
		F A X		
		E-mail		
主な職歴 (現に勤務 する施設・ 事業所での 経験年数も 含む)	期間	通算期間	勤務先	職務内容
	年 月～ 年 月	年 ヶ月		
	年 月～ 年 月	年 ヶ月		
	年 月～ 年 月	年 ヶ月		
	年 月～ 年 月	年 ヶ月		
	年 月～ 研修受講月	年 ヶ月		
■ 認知症介護の経験年数（研修受講月現在） ■				
合計 年 ヶ月				
備考※2				

※1 介護主任・介護リーダー等、現在の施設・事業所での職務内容がわかるよう記載して下さい。

※2 開設準備中及び増設並びに計画作成担当者が不在になるなど、特記事項を記入して下さい。